

にっぽん子育て応援団

NIPPON CHILDREN + PARENTS SUPPORTER

本当に子育てしやすい社会を目指して！
こんな活動を行っています。

子どもや子育てに関心をもってもらう

サポーター宣言をしよう

全国のサポーター増減

総サポーター数

4,638名



ホームページによる普及啓発及びサポーター宣言を集めています。

めざせ！100万人！

セミナー・シンポジウムを開催する



様々な業界の方を巻き込んで、子育てしやすいにっぽんを考えます。

「子育て応援フォーラム」と題して各種セミナー・シンポジウムを開催します。

企業、政府、政党などへの提案活動を行なう

2016年7月

本当に「愛をつむぐ」子ども・子育て支援を実現させるための財源確保を求める

緊急アピールを実施、各政党、厚生労働大臣、少子化担当大臣、文部科学大臣、地方創生大臣に提言しました。

＜にっぽん子育て応援団の考える目標＞

すべての子どもたちが家族の愛情に生まれ、また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、そして、地域や社会の多くの大人の慈しみの中で、心豊かに成長出来る環境を保障すること。

NEW!

セミナー、研修会などの講師派遣をお引き受け致します！

お問い合わせ先：info@nippon-kosodate.jp

子育てを応援する方法を考える



サポーターのみなさまからの声を企画委員が各方面へ届けます。

2014年11月、子ども・子育て支援新制度を円滑にスタートするための財源確保に関する緊急アピールを、みなさまの声とともに国会議員に届けました。

政党や自治体、市民団体とともに調査・研究を行なう

2009年7月、2010年7月、2012年12月、2013年7月、2014年12月、2016年7月、国会の各政党へアンケートを実施しました。

2010年度、2011年度、2012年度の3年間と2015年度、主要自治体の子育て分野におけるNPO・市民活動団体との連携に関する調査を実施、2014年度は自治体予算調査と自治体子ども・子育て支援事業計画策定進捗状況調査を実施しました。

2015年度から3カ年計画で、自治体へのヒアリング調査と交流会開催による地域まるごとケア・プロジェクトを進めています。

地方版子ども・子育て会議の活用を情報発信に努めます

子ども・子育て支援新制度が2015年4月に本格スタート。地方版子ども・子育て会議での協議は事業計画の推進と点検・評価へと移りました。

当事者の声が反映される仕組みの実現に向けては、実施主体の地方自治体での子ども・子育て会議の活用がカギ。各種調査やメールマガジンなどを通じた情報発信に努めます。

本当に子育てしやすいにっぽんに変えよう！

<http://nippon-kosodate.jp/>

にっぽん子育て応援団事務局
info@nippon-kosodate.jp

企画した人 ◎ … 応援団長（共同代表）

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| ○渥美雅子 弁護士 | ○安藤哲也 NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事 |
| ○岩田喜美枝 財団法人 21世紀職業財団会長 | ○奥山千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長 |
| ○勝間和代 経済評論家 | ○倉田 薫 池田市市長 |
| ○神津里季生 日本労働組合総連合会会長 | ○嶋野道弘 元文教大学教育学部教授 |
| ○林文字 横浜市市長 | ○樋口恵子 NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長 |
| ○堀田力 公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士 | ○棕野美智子 前大分大学教授 |
| ○村木厚子 津田塾大学総合政策学部客員教授 | ○柳澤正義 独立行政法人成人医療研究センター名誉総長・小児科医 |
| ○山田正人 「経産省の山田課長補佐、ただいま育休中」著者 | ○吉田恒雄 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長 |

（平成 29 年 6 月現在）

運営委員は、企画委員・事務局・各種プロジェクトチーム構成員から構成します。
事務局：松田・小原・青木・當間 ほか、多くの市民活動団体・ボランティアで支えています。